

番号	氏名	抱負
101	工藤 環	平成27・28年度と初めて代議委員をさせて頂きましたが、あまり貢献出来ませんでした。今一度チャンスを頂き 頑張りたいと思います。
102	國友 博史	私自身、放射線業務をする際、常に適切な手法の選択により業務を遂行する技術力の必要性を感じております。そのため、日本放射線技術学会の発展を通じ、多くの学術成果が社会に還元されるよう、診療放射線技師の技術の向上やそれを普及させる教育によって、より多くの患者の利益につながればと思ひ、微力ながら代議員に立候補いたしました。
103	久場 匡	九州支部沖繩理事としてやらさせて頂いております。沖繩・九州の皆さまの声を全国へ届けていきます。ぜひ投票をお願い致します。
104	黒岩 靖淳	私は金沢大学大学院及び宮崎大学医学部にて、基礎研究者として修練を積み保健学博士を取得した。現在、古賀総合病院総合の技師長職を務める傍ら、宮崎大学医学部にて研究員として所属し、研究を継続しながら研鑽を積んでいる。これまでの学会・論文発表の経験を活かし、微力ながら日本放射線技術学のさらなる発展に貢献したいと切に願ひ、学会の代議員へ立候補いたす所存である。何卒よろしくお願ひ申し上げます。
105	黒蕨 邦夫	現在の医療において、放射線医療は必要不可欠であり、その一翼を担う放射線技術学は医療科学として、更なる発展が必要と考えます。その為には、医療放射線技術に関するエビデンスの確立が必要で、当学会の存在は重要であると考えます。特に予防医療におけるエビデンスの確立にむけ、努力したいと考えています。また、エビデンスに基づく放射線技術の普及に努め、広く社会に貢献できる学会に発展させていきたいと考えています。
106	小池 克美	これまで、関東支部研究発表大会実行委員を務め、本学会と繋がってまいりました。また、現在は日本核医学技術学会の理事として会務を遂行しております。医療技術の発展に伴い、本学会の果たす役割は高まっていると考えています。最新の放射線技術を発信できる学会になるよう真摯に取り組み、微力ながら努めてまいり所存です。
107	小泉 幸司	現在、医療に携わる者として最終的なアウトカムである患者への貢献を考えたとき、放射線技術の貢献度と必要度は計り知れない。しかしながら、適切に利用するには高い倫理観と技術開発力および検証力が要求される。これは基礎的な検証から臨床を含めた応用までを、一つの流れとして取り扱う日本放射線技術学会が担う役割と非常に良く合致する。微力ではあるが一医療人として本会の更なる発展と世界に向けた情報発信に寄与したい。
108	木暮 陽介	日本放射線技術学会総会小委員会委員を務めさせて頂いております。本会の事業に積極的に関与し、会員の皆様への貢献に寄与していきたいと思ひます。また、放射線技術学の更なる発展と公益性を考慮し、代議員として責務を果たしていきたいと思ひますので宜しくお願ひいたします。
109	五反田 龍宏	現在、私は日本放射線技術学会九州支部にて財務理事を担当しております。九州支部では代議員が他の支部と比較して非常に少ないため、学会理事も選出しにくい状況になっております。九州からの研究や技師教育などを全国に発信するため、代議員に立候補いたしました。何卒、よろしくお願ひいたします。
110	小濱 千幸	諸先輩方の努力により診療放射線技師が世の中に認められるようになってきました。診療放射線技師の大半が学士を持ち、さらに修士、博士を取得した方達も多くなってきました。学会のめざすグローバルリズムを自然に受け入れられる環境で学んで来られた若い方達に、放射線技術を科学するという目的で様々な職種の方々が集まるこの学会の意義を少しでも伝えられるよう、橋渡しをしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。